

近畿本部 経営工学部会 2021年2月度定例会および研修会議事録

日時 2021年2月20日(土) 13:30~15:45

場所 ZoomによるリモートWeb開催

出席者 40名(全てWeb参加 *参加申込み(資料配信)は40名)

事前配信資料 ①2021年2月度定例会(研修会)議事進行表 ②例会出欠表

③研修会資料(神原技術士)、④2020年度第5回理事会報告(議事資料及び概要・理事/坂井技術士)

事後配信資料(参加各位へ) CPD行事参加票(荒井副部長)

司会進行・担当幹事 藤原技術士・田代技術士

1. 開会挨拶 (間島部長)

- (1) 今年初開催、今回もWeb上での多数のご参集感謝。各部会の活動はリモート中心で運営継続している。4月からの経営工学部会の運営手段は状況を見て判断する。
- (2) コロナ禍においても元気な会社があり、その取組方を積極的に学ぶことは経営工学の観点から有用である。
- (3) これから人事異動の時期になるが、日本技術士会や当部会への異動先の変更や連絡は忘れずに対応していただくようお願いします。

2. 研修会(講演)

・演題:「プロジェクトを成功に導くマネジメント」

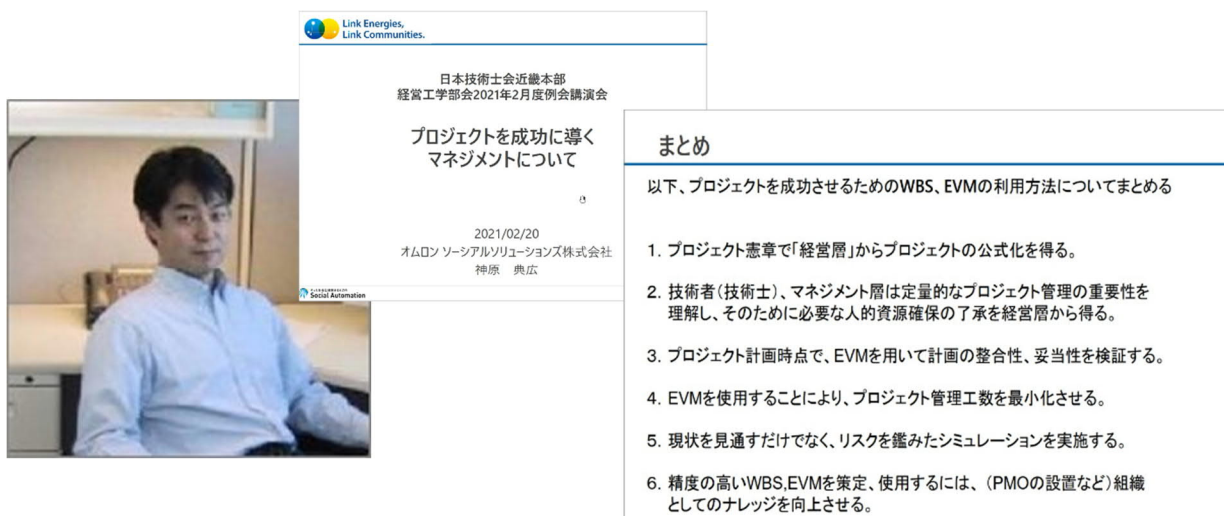
・講師: 神原典広 技術士(経営工学部門・総合技術監理部門) オムロン株式会社

・概要: 最初に「経営工学: サービスマネジメント」の技術領域を紹介。特にサービスマネジメントでの「サービスの工学的アプローチ」と「CS(Customer Satisfaction)の概要」・「顧客ロイヤルティの定量計測(NPS)」について近年の動向と合わせて解説された。

次にプロジェクトを成功に導くための計画立案時と実行時のマネジメント手法について説明、中でもタスク進捗を管理するためのWBS(ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー)と定量的なEVM(アード・バリュー・マネジメント)について、エクセルを用いたデモンストレーションで実プロジェクトでの運用を解説、人的リソースの負荷を先行予見したリスク管理について言及された。

実際のプロジェクト管理では本来有用であるEVMが使用されるケースは少ないが、デモンストレーションを通じて、どのようなプロジェクトでも簡単に使えることを紹介された。

また、質疑では PERT/クリティカルネットワークと EVM のアプローチの違い、等について討議された。



Link Energies,
Link Communities.

日本技術士会近畿本部
経営工学部会2021年2月度例会講演会

プロジェクトを成功に導く
マネジメントについて

2021/02/20
オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
神原 典広

まとめ

以下、プロジェクトを成功させるためのWBS、EVMの利用方法についてまとめる

1. プロジェクト憲章で「経営層」からプロジェクトの公式化を得る。
2. 技術者(技術士)、マネジメント層は定量的なプロジェクト管理の重要性を理解し、そのために必要な人的資源確保の了承を経営層から得る。
3. プロジェクト計画時点で、EVMを用いて計画の整合性、妥当性を検証する。
4. EVMを使用することにより、プロジェクト管理工数を最小化させる。
5. 現状を見通すだけでなく、リスクを鑑みたシミュレーションを実施する。
6. 精度の高いWBS、EVMを策定、使用するには、(PMOの設置など)組織としてのナレッジを向上させる。

4. 部会活動及び諸連絡事項など

(1) 今後の経営工学部会の活動予定

- ・2021年4月度の「部会＋研修会」(4/17 予定)の開催方法は、社会状況などから別途判断する
引続き次回以降の講演者を募集中で、幹事まで連絡をお願いする。議事上まででは岡崎哲三技術士、妹尾祐二郎技術士が講演検討中の状況で各々2021年の4月、6月の講演をご検討頂く。
- ・現地見学研修会:コロナ対応などから2021年/3月までは実施見送り
- ・近畿本部/経営工学部会の次期役員選出:従来通り、部会内にて選挙を行う予定

(2) 近畿本部の活動状況

- ・近畿本部/会議室は、三蜜対応実施中:大会議室はMAX18名まで入室時の消毒など
- ・近畿本部/事務局は、通常業務実施中
- ・Web開催のシステム環境を準備済み(TeamsとZoom)
- ・近畿本部主催のCPD研修などのイベントは、Web運用にて活動を実施中、
- ・各部会及び研究グループ活動は、各部会の判断にて実施中

(3) 最近の近畿本部の活動実績

- ①2021/1/17(日) 防災シンポジウム(神戸市にて) (Web開催)
- ②2021/1/23(土) 修習技術者支援/発表会(近畿本部にて) (Web開催)
- ③2021/2/5(金) 協賛団体特別セミナー(近畿本部にて) (3名の発表にて構成 Web開催)

(4) 2021年/2月以降の近畿本部の主な活動予定

- ①2021/3/6(土) 技術士第一次試験合格者祝賀会(Web開催)
- ②2021/2/15(月) ~2/22(月) 次期役員選挙の立候補受付中
- ③2021年5月以降に新役員体制にて活動予定
- ⑤次期役員選挙の告知あり
- ⑥次年度の技術士試験の概要発表有り

5. 自由発言、その他

- ①日本技術士会理事会報告(坂井理事)
- ②その他:年会費の改訂について

6. 閉会挨拶(田代)

コロナ禍での企業活動は変化しており、その特徴的なものとしてリモート活用が挙げられる。リモート活用も従来運用に当てはめただけではうまくいかないが、体系化・ルール化等を行えば、これまでよりも効率的に運用ができることが分かってきた。不自由で窮屈かもしれないが、運用制限が効率化の糸口になるのだと実感しており、本日、神原技術士の講演を拝聴し、「やっているつもり」だったプロジェクト運営においても「自由度の制限」によって更に効率的に進められるのではないかと感じました。

コロナ禍で、業務の質の向上につながることはまだ多くあり、経営工学はこれからも将来の社会発展に貢献できると再認識した次第です。本日は多くの参加、誠にありがとうございました。

以上(文責:田代芳樹)